

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
麻生建築&デザイン専門学校	平成9年11月26日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999				
目的	グラフィック、色彩、印刷、WEBなどの基礎知識や技術を習得することを目的とする。また、広告制作に必要なメディア特性・マーケティングなど実践に即したデザインの流れも学習し、幅広く活躍できるデザイナーを目指す。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ビジュアルデザイン科	平成22年文部科学大臣告示第152号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1995	675	1545	0	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	39人	2人	7人	9人			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価。3分の2以上の出席が必要			
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏期休業:7月27日～8月31日 ■冬期休業:12月25日～1月7日 ■春期休業:3月19日～4月10日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	単位数を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90%以上 学生としてふさわしい生活態度			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセラーによるカウンセリング		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 広告制作会社、広告代理店 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)		主な資格・検定等	Illustratorクリエイター能力認定試験 Photoshopクリエイター能力認定試験 カラーデザイン検定			
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成27年5月1日 在学者 33名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 31名 (平成28年3月 卒業者を含む)		■中退率 6%				
■中途退学の主な理由 進路変更、健康問題							
■中退防止のための取組 ガイダンス カウンセリング 学生・保護者・担任での三者面談							
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/act/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
三並 恒功	株式会社PBM CEO
井上 勝義	クリエイティブルームERNEST 代表
合瀬 理栄	国際カラーデザイン協会 九州支部長
竹口 伸一郎	麻生建築&デザイン専門学校 校長
熊野 学	麻生建築&デザイン専門学校 校長代行
今泉 清太	麻生建築&デザイン専門学校 主任
原 将史	麻生建築&デザイン専門学校 教員
松本 剛太	麻生建築&デザイン専門学校 教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年7月10日 15:30~16:30

平成27年度 第2回 平成27年10月16日 15:30~17:00

平成28年度 第1回 平成28年7月1日 予定

平成28年度 第2回 平成28年10月28日 予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業からの要請等を十分にいかすために企業からのヒアリングやアンケートを行い、その結果を踏まえながらビジュアルデザイン分野に関する職業に必要な4つの分野(エディトリアル・Web, イラストレーション、デジタルフォト)の技術修得に関して、企業との連携により業界でのトレンドなど加味した極めて実務に近い課題演習を行うことで学生のスキル向上を目指す。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン概論A・B	広告・企業とデザインといった視点から、体系化されたデザイン論を学ぶ。	クリエイティブルーム ERNEST

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や指導力の習得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
尾ノ上 由美	H28年度 建築工学科在校生 保護者
尾ノ上 一輝	H27年度 建築工学科 卒業生
川藤 勝治	博多区博多駅南2丁目4区自治会 自治会長
高木 秀樹	株式会社 九州住宅リフォーム 代表取締役
横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長
高崎 強	株式会社 久米設計 主管
戸田 康仁郎	株式会社 大設計 総務部長
田中 靖雄	株式会社 エヌ・アンド・シー 管理本部長
三並 恒功	株式会社PBM CEO
上原 淳司	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部長
重枝 武司	福岡県立福岡工業高等学校 校長
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_act.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (学校法人麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/act/> (麻生建築&デザイン専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(工業専門課程ビジュアルデザイン科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジュアルデザイン演習 I A	レイアウト・文字組に関するビジュアルデザイン構築を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			ビジュアルデザイン演習 I B	デザインワーク「アイデアカ」の基礎強化、習得を目的とした授業。	1後	60	4		○		○		○		
○			就職実務 I A	就職活動ガイドブックに沿った、一般的な就職活動時のマナーや姿勢を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			就職実務 I B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	30	2	○			○		○		
○			Illustrator 演習	Illustratorの初歩的な利用スキルを習得する。	1前	30	2		○		○		○		
○			Photoshop 演習	Photoshopの初歩的な利用スキルを習得する。	1前	30	2		○		○		○		
○			オペレーション演習 I	Illustrator・Photoshopの両ソフトウェアを用いて、課題制作を繰り返し行う。	1後	30	2		○		○		○		
○			DTP概論 I	DTP制作で必要な基礎知識を学ぶ。また、DTPの歴史にも触れる。	1前	30	2		○		○			○	
○			DTP演習 I	DTP実務にて必須となるデータの入稿方法などを実践に則した形で習得する。	1後	60	4		○		○			○	
○			コピーライティング I A	広告物の企画制作に必要なライティング能力を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			コピーライティング I B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	30	2	○			○			○	

○		デザイン概論 B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2 後	30	2		○	○					○	○
○		作品制作A	企業に提出するための作品集制作を目的とする。	2 前	30	2		○	○					○	
○		作品制作B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2 後	15	1		○	○					○	
		○ コンテスト対策	自由選択科目。コンペティション参加に当たって、作品の推敲や検証を行う。	2 後	60	4		○	○					○	
		○ ポートフォリオ	自由選択科目。作品制作A・Bと合わせて、企業に提出するための作品集制作を行う。	2 後	15	1		○	○					○	
○		エディトリアル上級専攻Ⅱ A	ページ物の雑誌制作を行い、実際に誌面の構成とデザインを行う。※B	2 前	30	2		○	○					○	
○		エディトリアル上級専攻Ⅱ B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。※B	2 後	15	1		○	○					○	
○		イラストレーション専攻Ⅱ A	キャラクターや挿絵制作に関するスキルと考え方を学ぶ。※C	2 前	30	2		○	○					○	
○		イラストレーション専攻Ⅱ B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。※C	2 後	15	1		○	○					○	
○		デジタルフォト専攻ⅡA	一眼レフカメラを使用した撮影技法を学ぶ。スタジオ撮影も実施する。※D	2 前	30	2		○	○					○	
○		デジタルフォト専攻ⅡB	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。 ※D	2 後	15	1		○	○					○	
○		パッケージデザイン専攻Ⅱ A	パッケージ制作に必要なスキルや考え方を学ぶ。 ※E	2 前	30	2		○	○					○	
○		パッケージデザイン専攻Ⅱ B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。※E	2 後	15	1		○	○					○	
合計				58 科目		1995 単位時間 (133 単位)									

※Aグループより2科目、※B～Eグループより通年で2グループを選択する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目（実習を含む）に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。 国土交通省が定めた規定の時間を満たした者 学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	1 5 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。